

児童の活動

2026年1月

【1年】ぶっくママ



木曜日はぶっくママの日です。

今日までいろいろな方に読みに来ていただき、本に親しむことができました。

3学期最初のぶっくママは、クラスの友達のお母さんが来てくださいました。

絵本の読み聞かせが大好きな子どもたち。今回は、ちょっと怖い本でしたが、お話の中に引き込まれてじっと聞き入っていました。

次は、だれがきてくださるのかなあ。楽しみに待っています。

【2年】学校給食週間



高島市では、1月26日から30日までの間、学校給食週間として学校給食についての理解を深め、関心を高めるための週間としています。

2年生では、苦手な食べ物でも、いつもより頑張っ
て食べる様子も見られました。

また、この期間中には、いつもお世話になっている
給食の関係者に感謝の気持ちを込めてお手紙を書き
ました。

地域の食材を届けてくださっている方などへ感謝の
気持ちを伝えることができる、すてきな時間となりまし
た。

【3年】算数科「重さ」の学習

てんびんを用いて物の重さを比べました。

測量前にどちらが重いかを予想し、消しゴムや鉛筆キャップ、のりなどの重さを比べました。予想と外れることも多く、「えー!」という驚きの声や、同じ重さの物を見つけててんびんがつり合う様子に、「やったー!」と喜ぶ声が聞こえてきました。

そして、グラム(g)やキログラム(kg)という重さを表す単位を新たに学びました。

体重など生活の中でも重さの単位が使われているため、子どもたちは重さの単位を身近に感じたようです。



【4年】福祉学習



点字ボランティアグループ「ゆび」さんに来校していただき、点字体験をしました。

点字の意味や読み方を教えてもらい、実際に点字を打ちました。

子どもたちは興味を持って活動に取り組みました。

活動前はどこか遠いことのように感じていた福祉の世界。しかし、実際に体験し、現場の声を聞くことで、「もっと詳しく知りたい」「自分たちにできることは何か」という前向きな疑問が生まれました。

この活動をきっかけに、障がい者福祉に関心を持ち、調べ学習に発展しています。

【5年】版画の作品づくり



現在、図画工作科では「版画」の学習に取り組んでいます。子どもたちは国語で親しんだ『もちもちの木』や『花さき山』から、自分のお気に入りの場面を選んで下書きをしました。

その後、下書きを写した板を彫刻刀で丁寧に彫り進めています。集中して一生懸命取り組む姿が見られます。

彫り終わったら、板にインクをつけて刷りの作業です。ムラなくインクがつくようローラーの動かし方を工夫するなど、どの子も真剣そのものです。

刷り上がった紙の裏から絵の具で着色し、色鮮やかな作品に仕上げていく予定です。完成をどうぞ楽しみにしててください。

【6年】卒業制作

「漢字」に卒業することへの思いをこめて…



個人の卒業制作の一つである「習字パネル」を講師の先生のご指導のもと制作しています。

題材は「自分の好きな漢字」です。自分の夢や目標、どんな人になりたいのかを考え、毛筆でその思いを表現しました。

「習字パネル」は、一人ひとりの心のこもった字になっています。

卒業式では、体育館の壁面に掲示される予定です。